キャリア通信

１２月号
キャリアデザイン部

・英検と大学入試について
・受験に向けて
・充実の冬休み
・学習成果発表会

2024 年 12/25 発行

今年もあとわずかとなりました。時が経つのは早いものです。新年を気持ちよく迎えるために、年内にやるべきことは、きちんと済ませておきましょう。

✐英検と大学入試について

本校では，**1月 17 日(金)に1，2年生全員を対象に英検の学校受検を実施します**。英検資格を取得すると、大学入試でも利用できる場合があります。英語外部試験利用入試と呼ばれますが、主なパターンは次の２つです。

① 大学が定める資格・スコアを有していると出願できる。

明治大（英語４技能試験利用方式）以下の検定試験のうち１つを必ず有すること。
英検２級，TEAP225 点以上，IELTS4.0 以上など

② 共通テストや国公立2次・私大入試の英語の得点に換算する。

立教大（共通テスト利用入試）文学部を除き，英語の独自試験を廃止。英語資格・検定試験のスコア、もしくは共通テスト「英語」のいずれかで評価される。つまり、**受験当日は他の教科に集中できる。**

英検 CSE スコア 2,300 点　→　共通テスト 170 点換算
英検 CSE スコア 2,450 点以上　→　共通テスト 200 点換算など

※河合塾の受験情報サイトに「英語資格・検定試験を利用する大学一覧」が掲載されています。参考にしてください。
https://www.keinet.ne.jp/exam/2025/pdf/25eigo_shikaku.pdf

英検の取得年に注意！

英検は一度取得したら一生有効の資格ですが，大学入試においては有効期限が定められている場合があるので注意が必要です。多くの大学において，**「出願日から遡って2年以内に取得したものに限る」**という記載があります。学校推薦型においては３年１１月から出願開始となりますので，１年の１１月以降に取得した資格である必要があります。「中学時代に２級を取得した」という生徒、それはすごいことではあるのですが、大学入試においては活用できない場合があるので，十分注意しましょう。

✐受験にむけて　＝過去問対策＝　一般受験の生徒に向けて

いよいよ受験シーズンが始まります。冬休みの課題や目標はもう決めましたか。自信を持って本番に望めるように、必要なことをしっかりおさえてスケジュールを組みましょう。受験に向けて、実力を高めるための計画を立てましょう。予備校等の冬期講習に参加する場合は、それも予定にきちんと組み込んだ形の計画を立てるべきです。ただし、予備校は「〇〇大学専門」となってない限り、全般的な事柄、全体の総復習や特定の分野ごとに分かれての講習になるはずですから、**自分でうまくカスタマイズすることが必要**ですね。

ところで、もう過去問は解きましたか？早い人は夏ごろから解き始めている人がいると聞いています。あまり早い段階で解き、正答率が低くて自信をなくしたという話を聞いたことがあります。実力をつけるべく努力してきた今なら、どんどん過去問にチャレンジしてほしいと思います。もちろん、特定の大学の問題でなく、センター試験でもよいと思います。**過去問を解く時には、出来れば本番と同じ時間、同じ時間割で解くことをお勧めします。**可能なら環境も普段とは少し変えて、いつもの学習場所でないところで解いてみる、それが難しいなら、机の向きや位置を変えてみたり、「いつもと違う」雰囲気作りをしてみてはいかがでしょうか。自宅では無理なら、少し緊張しそうないつもは利用しない図書館を利用してもよいと思います。教科の順番や休憩など、時間割も本番どおり、時間もきっちりタイマーで計って(図書館では使えませんが…)解いてみて下さい。全てのスケジュールが終わったら、解説を読み、解きなおしをします。その後、実際の７割の時間で解いてみることをお勧めします。１００分のテストであれば、７０分で解いてみるのです。理解していれば当然出来るはず。自信にもつながります。試してみてください。

各大学の合格最低点は70％前後。満点を取る必要はないのです。ただし、受験者のほとんどが正解する問題を間違えていた場合はその部分を強化する必要があります。

✐充実の冬休みに向けて　《受験生向け》、《1・2年生向け》

《受験生向け》

①克服する分野を決めよう

冬休みは２週間ほど。時間はある程度限られているので、始まる前に、自分にとって必要な勉強を見極めておく必要があります。過去問を解くなかで**「よく出題されているけれど苦手」と感じるものがあれば「冬休みに克服する目標」にします。「類題を毎日2問ずつ解く」「暗記カードを作って毎日見直す」**と言った感じです。これまで受けてきた模試の結果から、できていない分野や項目を見極めるのもいいでしょう。

②復習！復習！

冬期講習に通う人、自宅で頑張る人様々だと思いますが、一度学習したことは必ず**「今日中に理解する！」**という気合が必要です。つまり、復習が大切だと言うことですね。似た問題を次に解くのは、入試本番かもしれません。

③体調を整え、本番に備える

冬休みに入ると、ついつい夜おそくまで勉強しがちです。でも、無理をすれば体調を崩すこともあります。睡眠はちゃんと確保しましょう。「疲れているな」と感じたら、無理をせず、早めに勉強を切り上げることも大切です。冬休みの後半からは入試当日に合わせて、生活のペースを朝型に切り替えていきます。

入試の日に起きる時間、食事を摂って出発する時間、試験が始まる時間を、自分で覚えていますか？または、スケジュール表に書き込んでいますか？「試験開始」の合図と同時にこれまで学習してきた成果を発揮できるよう、体のリズムを整えておきましょう。

④準備は冬休み中に完璧に！

願書の記入、持ち物の確認、道順の確認等々、冬休み中にできるだけのことをやっておきましょう。可能なら、受験する学校ごとにファイルケースかビニールケースを用意し、赤本・願書・受験票・地図など必要な物を仕分けしておくのもよいと思います。

特に受験票は「ここ」という場所、たとえば専用のウォールポケットや普段から大切なものを置く場所（あれば神棚や仏壇）などに大切に保管してください。

《1年生・2年生向け》

以前、進路行事で「受験の心得」についてお話を聞きました。そこで気になったのは、**「高3生時に合格できなかった先輩たちがあげた失敗の理由」です。**
その①～⑩を右にあげました。

１年後、または２年後に「合格」の栄冠を勝ち取るためには、冬休み中に何をすべきか…わかりますね。

① 苦手科目をそのままにしておいた
② 日によって勉強時間にムラがあった
③ 高校の教科書を軽視して基礎・基本が身についていなかった
④ 「ながら勉強」で集中力が足りなかった
⑤ 「なんとかなるさ」と入試を甘く見ていた
⑥ 授業を怠けていた
⑦ 板書をノートに写す受身の勉強で自分なりの勉強方法が身についていなかった
⑧ 目標に向かっての本格的な勉強開始が遅れた
⑨ 第一志望校がフラフラしていた
⑩ １日の勉強時間が足りなかった

✐ ＝学習成果発表会＝ 12/24 実施

発表団体（授業）	発表内容
スポーツⅥ	新体操
スポーツⅣ	よさこい
総合映像	ミュージックビデオの上映
和楽器基礎・演習	琴・三味線の演奏発表
アニメーション	映像作品の上映
デザインソフトウェア	韓国修学旅行
日本舞踊	日本舞踊
課題研究	研究発表

総合学科の多様な科目の学びを実感し、互いの学びを共有する機会を作るため、毎年学習成果発表会を実施しています。

笑いあり、納得あり（？）の楽しい発表会となりました。舞台発表団体及び発表内容は下記のとおりです。芸術家と工業科は展示部門で参加し、作品は 2 階のギャラリースペースに展示しています。

今年の学習成果発表会では、４人の３年次生が課題研究の発表をしてくれました。

司会の先生が「いつ頃、テーマを決めたか」「入試（総合型や推薦）に役立ったか」「１・２年次生へのアドバイスは？」といった質問をしてくれました。発表した生徒は、２年次生のうちにテーマを決めた、またはテーマの候補を５つくらいに絞り込んだ、と答えていました。入試には時期的に間に合わなかった生徒もいたそうですが、面接で課題研究のことに触れると、上級学校の面接官は興味を持って聞いてくれたようです。研究への取り組みついては、発表した４人とも、「もっと早く取り組むべきだった」と話していました。

また、**「OCA の先生や専門分野の先生、まわりの友人に、とにかく聞くことが大切で、これが先生やみんなと仲良くなれる最後のチャンスだと思いました」**とのお話が印象的でした。

※OCA･･･王子総合キャリアアドバイザーの略、教員全員がアドバイザーとして３年次生徒全員の指導に当たります